

# 阿 蘇 山

## 1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは 2 (やや活発な火山活動)でした。

## 2 概 況

中岳第一火口では、湯だまりの表面温度<sup>1)</sup>が 70 前後で経過し、小規模な土砂噴出が発生するなど、熱活動はやや活発な状態が続いています。6 月下旬の降雨により、湯だまりの量が増加し、表面温度はやや低くなっていますが、火山活動はやや活発な状態が続いていると推定されます。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

## 3 噴煙活動の状況(図 1)

・噴煙活動に特段の変化はなく、噴煙は白色・ごく少量で高さは概ね 200m で推移しました(最高は 300m)。

## 4 地震・微動活動の状況(図 1 ~ 3)

・火山性地震の月回数は 113 回(5 月:143 回)で大きな変化はありませんでした。  
・火山性地震の震源は、主に中岳第一火口付近のごく浅いところに分布しています。  
・孤立型微動の月回数は 695 回(5 月:1,080 回)で大きな変化はありませんでした。  
・火山性連続微動の振幅は小さな状態で経過しました。

## 5 火口や噴気地帯の状況(図 3)

・中岳第一火口の湯だまりは、量が約 5 ~ 6 割、表面温度が 70 前後と熱活動はやや活発でした。29 日の観測では、量が約 9 割と増加し、表面温度も 59 とやや低下していましたが、下旬の降雨の影響によるものと考えられます。  
・湯だまりの南西側で高さ 1 ~ 2 m の土砂噴出を数ヶ所で観測していましたが、29 日の現地観測では土砂噴出はありませんでした。  
・湯だまりの色は期間を通して緑色でした。

1) 赤外放射温度計による。赤外放射温度計は、物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定できる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

## 6 地殻変動の状況(図 4、図 5)

GPS による地殻変動の連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

## 7 地磁気全磁力の状況(図 6、図 7)

気象庁地磁気観測所による全磁力連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

---

資料作成に当たっては、気象庁のデータの他、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを使用しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)。

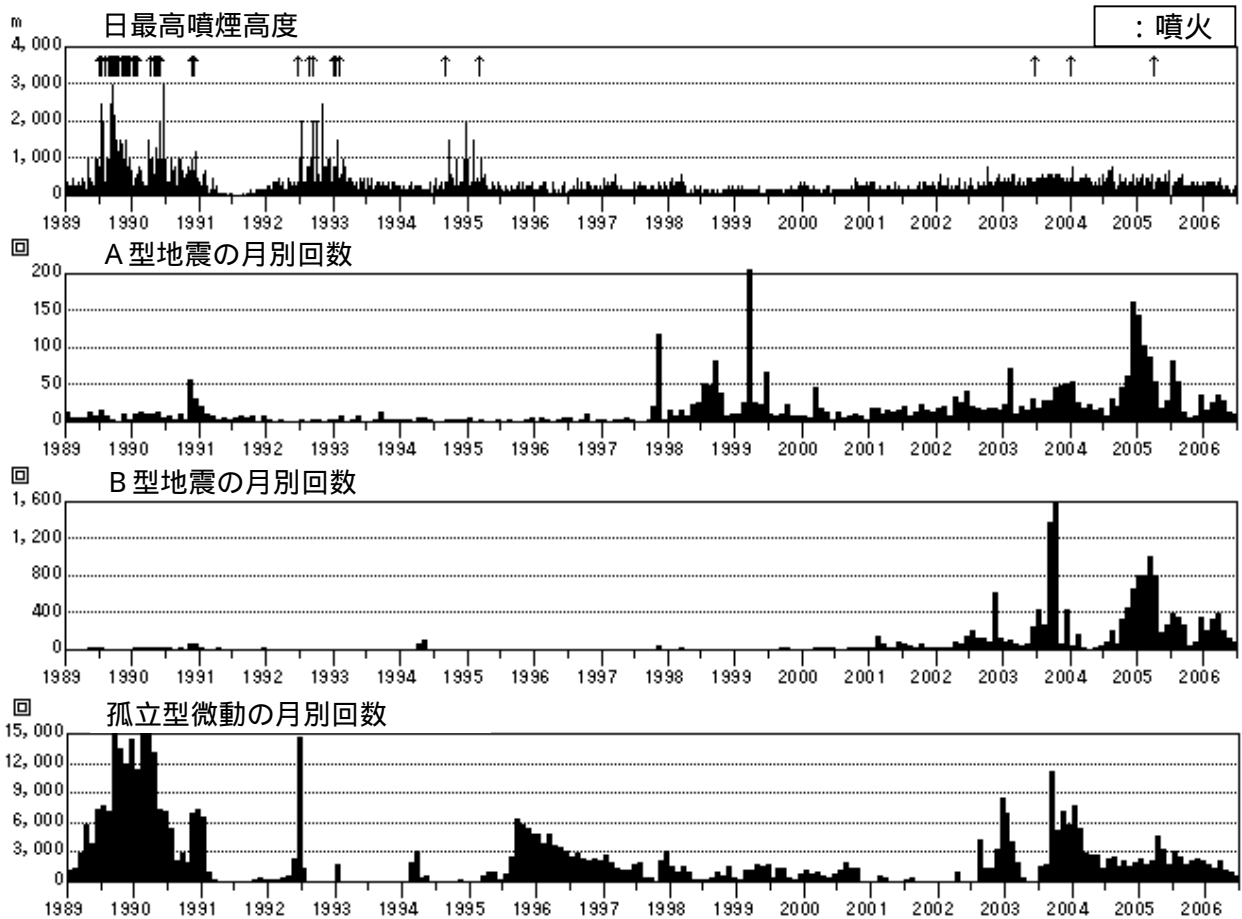
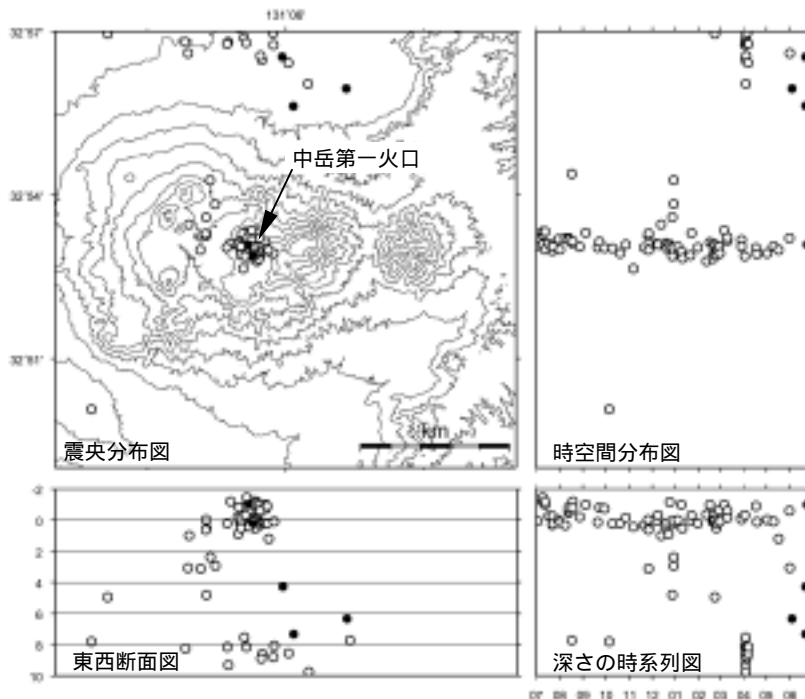


図 1 火山活動経過図(1989年1月1日～2006年6月30日)  
 噴煙の状況に変化は認められず、高さの最高は300mでした。  
 火山性地震の発生回数に、大きな変化はありませんでした。  
 孤立型微動の発生回数は、大きな変化はありませんでした。



：2005年7月～2006年5月 N=88  
 ：2006年6月1日～30日 N=5

図 2 火山性地震の震源分布  
 (2005年7月～2006年6月)  
 火山性地震の震源は、主に中岳第一火口付近のごく浅い所に分布しています。  
 (本資料は、独立行政法人防災科学技術研究所、京都大学、気象庁のデータを用いて作成しました。)

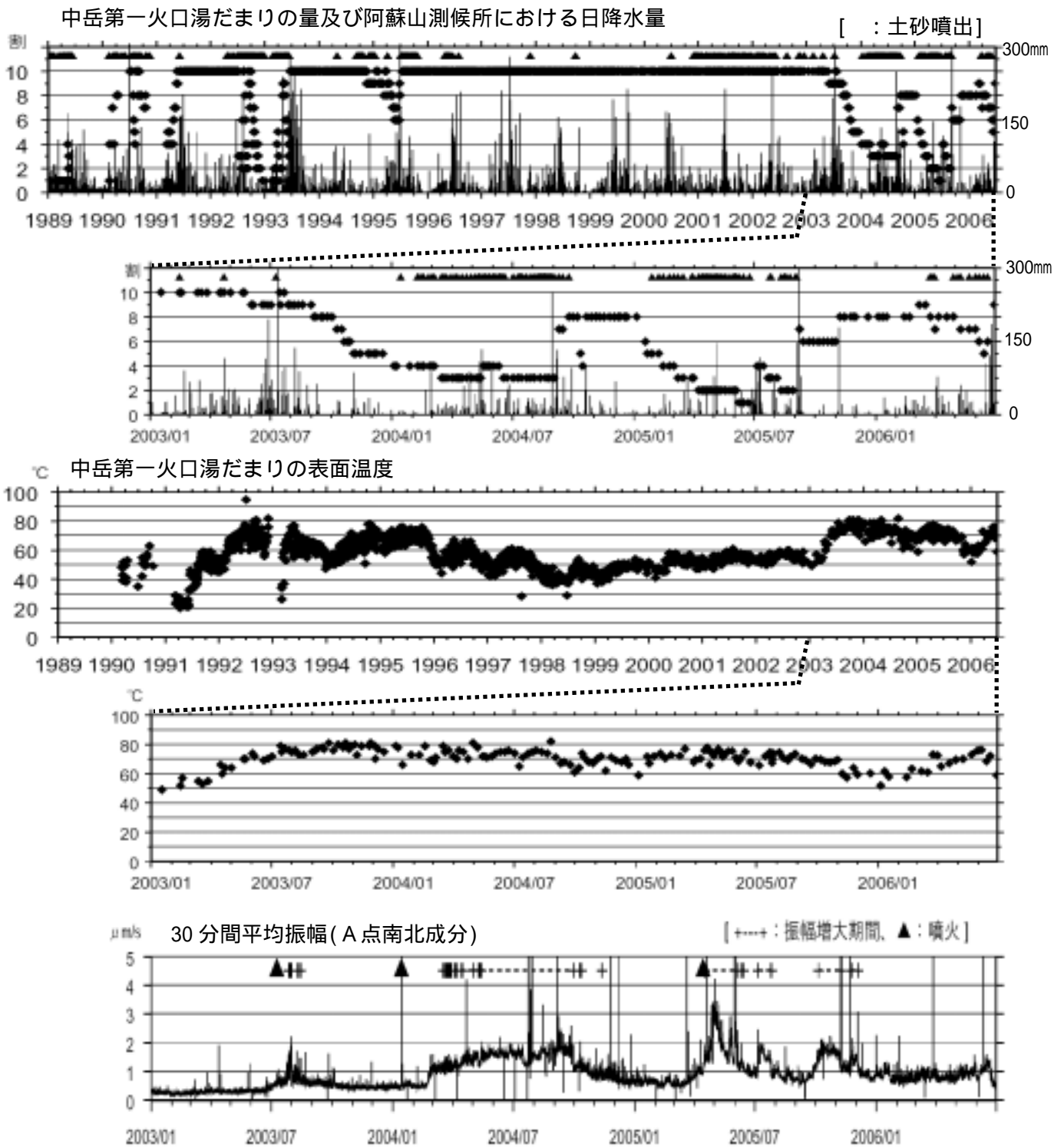


図3 火山活動経過図(1989年1月1日~2006年6月30日)

湯だまり量は約 5 ~ 6 割から約 9 割に増加しました。  
 湯だまりの表面温度は 6 日に 76 を観測するなど、高い状態で経過していましたが  
 29 日には 59 とやや低くなりました。  
 19 日の現地観測まで、湯だまり南西側で高さ 1 ~ 2 m の土砂噴出を観測しました。  
 その後、降雨により湯だまり量が増加し、土砂噴出は見られなくなりました。  
 火山性連続微動の振幅は小さい状態が 6 月も継続しました。

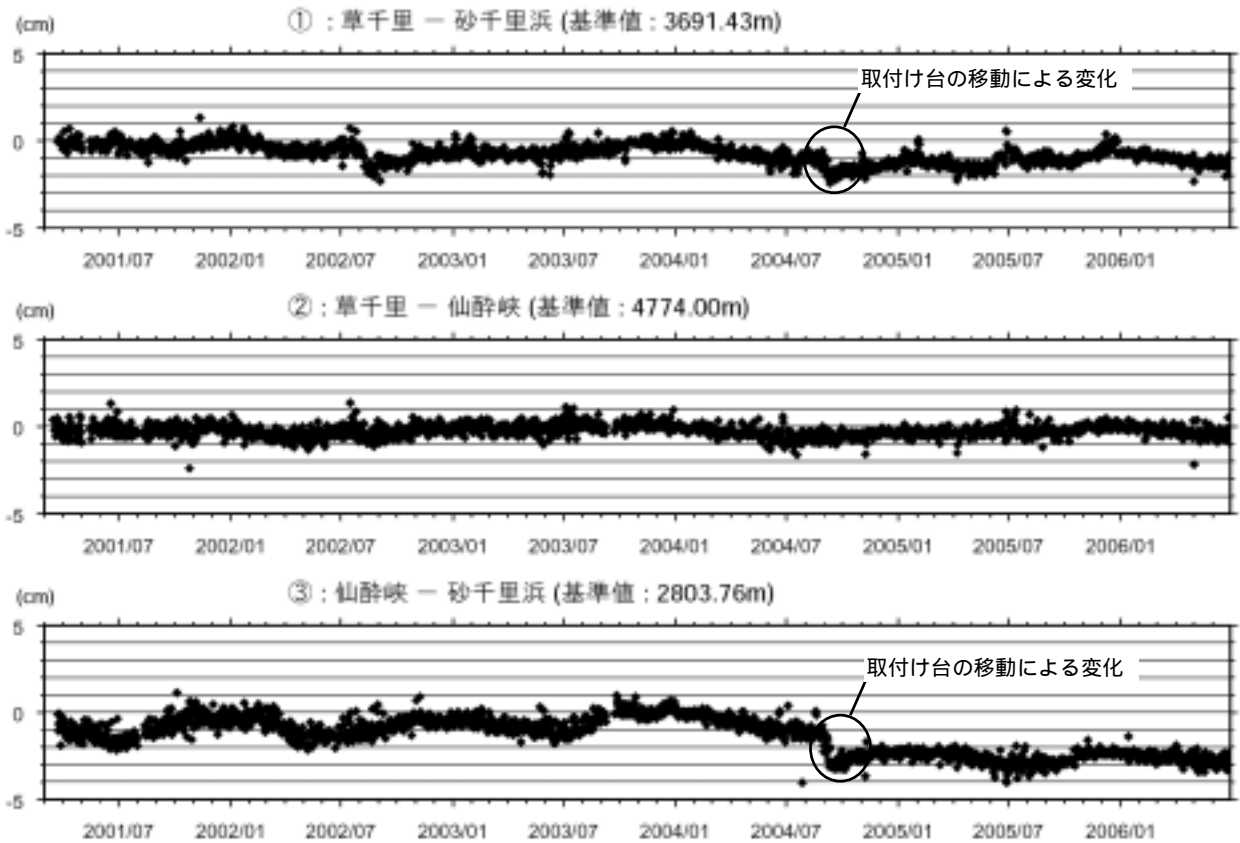


図4 GPSによる基線長変化(2001年3月15日~2006年6月30日)

基線の番号は図5の ~ に対応しています。

各観測点間の基線長には、火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

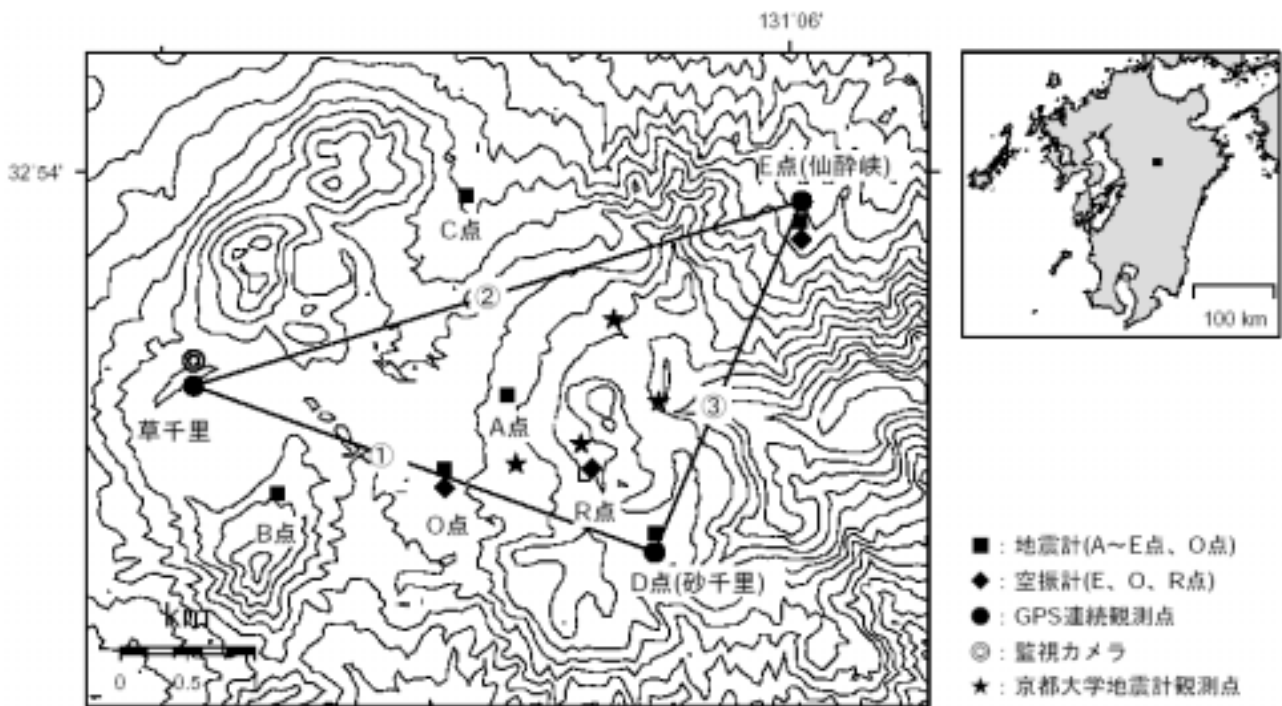


図5 観測点位置図

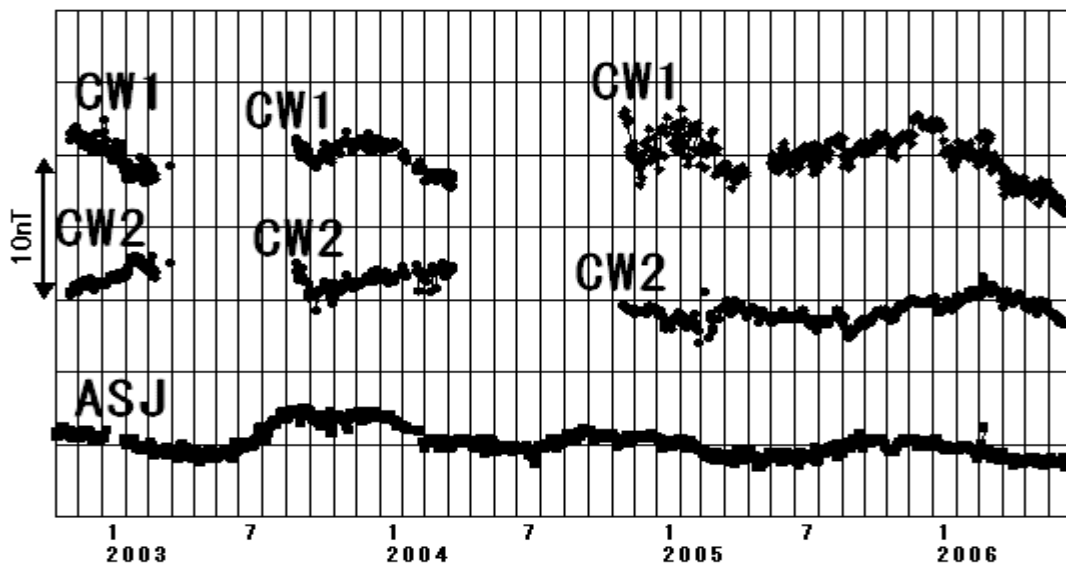


図 6 全磁力連続観測の結果 (2002 年 11 月 ~ 2006 年 6 月)

- 火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

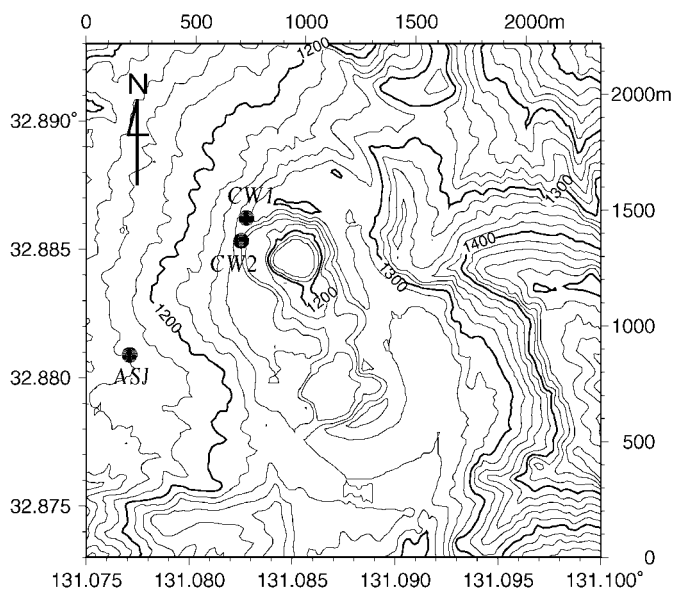


図 7 全磁力連続観測点配置図